

## 2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年10月15日

上場会社名 JMACS株式会社  
 コード番号 5817 URL <http://www.jmacs-j.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村剛嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 植村瑠美 TEL 0795-46-1697  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 未定  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年2月期第2四半期の業績 (2021年3月1日～2021年8月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	2,253	—	110	—	137	—	105	—
2021年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	22.45	—
2021年2月期第2四半期	—	—

(注) 2021年2月期第2四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2021年2月期第2四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	8,384	4,495	53.6
2021年2月期	8,456	4,428	52.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 4,495百万円 2021年2月期 4,428百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年2月期	—	0.00			
2022年2月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,416	24.1	303	—	340	439.7	235	—	50.15

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	4,691,555株	2021年2月期	4,691,555株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	5,571株	2021年2月期	5,571株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	4,685,984株	2021年2月期2Q	4,685,984株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ(業績予想などの将来予想情報に関する説明)をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。なお、当第2四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、前年同四半期等との比較分析は行っておりません

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う社会活動全般及び経済活動を制限された状態が続き、なお関東でのオリンピック・パラリンピック開催の為に交通規制による資材搬入制限などの影響を受け景気は後退、企業における輸出や生産活動が減少するなど、経営環境は厳しい状況が続きました。

一方海外経済は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各国で経済活動の停滞が続き、景気は悪化しました。更に米中間における貿易摩擦の激化や中東情勢の混乱などをはじめとした海外における不安定な政治動向などにより、不透明な状況のまま推移しております。

このような状況のもと、当社といたしましては、経営方針として、“重点指向”を掲げ、お客様のニーズにあった製品の開発・販売に注力し、販路拡大に努めてまいりました。

この結果当社の経営成績につきましては、当第2四半期累計期間の売上高は2,253,894千円、営業利益110,179千円、経常利益137,860千円、四半期純利益105,207千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <電線事業>

電線事業につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴った受注減から少しずつ回復へ向かい、売上高2,044,287千円となり、銅価格の高騰も伴い、セグメント利益167,316千円となりました。

#### <トータルソリューション事業>

トータルソリューション事業につきましては、遠隔業務支援システム搭載可能なスマートグラスや介護施設などへの設置が増えているJSEEQ-Care®の受注増加により売上高209,606千円となり、コスト面では、プロジェクト管理による収益性の改善に努めましたがエンジニアの増加及びソフトウェア開発費の増加によりセグメント損失57,136千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第2四半期会計期間末の総資産残高は8,384,306千円となり、前事業年度末に比べ72,673千円減少いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少215,099千円、電子記録債権の減少24,908千円、建物の減少44,533千円、現金及び預金の増加136,654千円、原材料及び貯蔵品の増加75,306千円等によるものであります。

#### (負債の部)

当第2四半期会計期間末の負債残高は3,888,524千円となり、前事業年度末に比べ139,500千円減少いたしました。その主な要因は支払手形及び買掛金の増加54,327千円、短期借入金の減少34,000千円、長期借入金の減少60,114千円、流動負債のその他の減少88,678千円等によるものであります。

#### (純資産の部)

当第2四半期会計期間末の純資産残高は4,495,782千円となり、前事業年度末に比べ66,826千円増加いたしました。その主な要因は四半期純利益105,207千円及び剰余金の配当46,859千円等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、628,537千円となり、前事業年度末に比べ136,654千円増加いたしました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は271,233千円となりました。これは主として税引前四半期純利益137,860千円、減価償却費96,542千円、売上債権の減少額240,008千円等による増加要因が、たな卸資産の増加額117,893千円、未払消費税等の減少額96,253千円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果得られた資金は6,742千円となりました。これは主として投資不動産の賃貸による収入33,708千円等による増加要因が、有形固定資産の取得による支出19,254千円等による減少要因を上回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は141,321千円となりました。これは主として長期借入金の返済による支出60,114千円、配当金の支払額46,721千円等による減少要因によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想に付きましては、2021年9月14日から発表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2021年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	491,882	628,537
受取手形及び売掛金	1,567,270	1,352,170
電子記録債権	254,337	229,428
商品及び製品	404,502	406,580
仕掛品	166,290	206,799
原材料及び貯蔵品	350,966	426,273
その他	30,090	33,865
貸倒引当金	△182	△157
流動資産合計	3,265,158	3,283,498
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,095,806	2,051,273
土地	1,045,837	1,045,837
その他(純額)	231,097	204,891
有形固定資産合計	3,372,742	3,302,002
無形固定資産	16,682	14,920
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	1,579,501	1,578,889
その他	222,895	204,995
投資その他の資産合計	1,802,397	1,783,885
固定資産合計	5,191,822	5,100,808
資産合計	8,456,980	8,384,306
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	238,948	293,276
電子記録債務	434,762	457,191
短期借入金	734,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	120,228	120,228
賞与引当金	21,138	13,123
その他	223,869	135,190
流動負債合計	1,772,947	1,719,010
固定負債		
長期借入金	1,951,234	1,891,120
退職給付引当金	124,830	89,544
役員退職慰労引当金	146,816	146,816
資産除去債務	—	10,322
その他	32,196	31,710
固定負債合計	2,255,077	2,169,514
負債合計	4,028,024	3,888,524
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	647,785	647,785
資本剰余金	644,838	644,838
利益剰余金	3,092,024	3,150,371
自己株式	△2,659	△2,659
株主資本合計	4,381,988	4,440,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	46,967	55,446
評価・換算差額等合計	46,967	55,446
純資産合計	4,428,956	4,495,782
負債純資産合計	8,456,980	8,384,306

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	2,253,894
売上原価	1,656,142
売上総利益	597,751
販売費及び一般管理費	487,572
営業利益	110,179
営業外収益	
受取賃貸料	33,708
助成金収入	8,601
その他	2,798
営業外収益合計	45,108
営業外費用	
支払利息	11,084
賃貸収入原価	4,419
その他	1,923
営業外費用合計	17,427
経常利益	137,860
税引前四半期純利益	137,860
法人税等	32,653
四半期純利益	105,207

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	137,860
減価償却費	96,542
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,015
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△35,286
受取利息及び受取配当金	△1,607
受取賃貸料	△33,708
支払利息	11,084
売上債権の増減額(△は増加)	240,008
たな卸資産の増減額(△は増加)	△117,893
仕入債務の増減額(△は減少)	76,756
未払消費税等の増減額(△は減少)	△96,253
その他の流動資産の増減額(△は増加)	8,980
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△13,020
その他	7,497
小計	272,921
利息及び配当金の受取額	1,607
利息の支払額	△14,515
法人税等の支払額	△2,637
法人税等の還付額	13,857
営業活動によるキャッシュ・フロー	271,233
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△19,254
有形固定資産の売却による収入	6,250
投資不動産の賃貸による収入	33,708
敷金及び保証金の差入による支出	△11,158
その他	△2,803
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,742
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△34,000
長期借入金の返済による支出	△60,114
配当金の支払額	△46,721
その他	△486
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141,321
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136,654
現金及び現金同等物の期首残高	491,882
現金及び現金同等物の四半期末残高	628,537

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの生産面、販売面における現時点までの影響については、大きな増加や減少は見受けられておらず、限定的であります。

しかし、新型コロナウイルス感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当第2四半期会計期間末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえて、今後、2022年2月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自2021年3月1日至2021年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益計算書計上額 (注)
	電線事業	トータルソリューション事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,044,287	209,606	2,253,894	—	2,253,894
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,044,287	209,606	2,253,894	—	2,253,894
セグメント利益又は損失 (△)	167,316	△57,136	110,179	—	110,179

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。